

2016年度
あいちの市町村民所得
(概要版)

2019年7月31日

愛知県 県民文化局 県民生活部 統計課

この資料の内容はインターネットで御覧になれます。

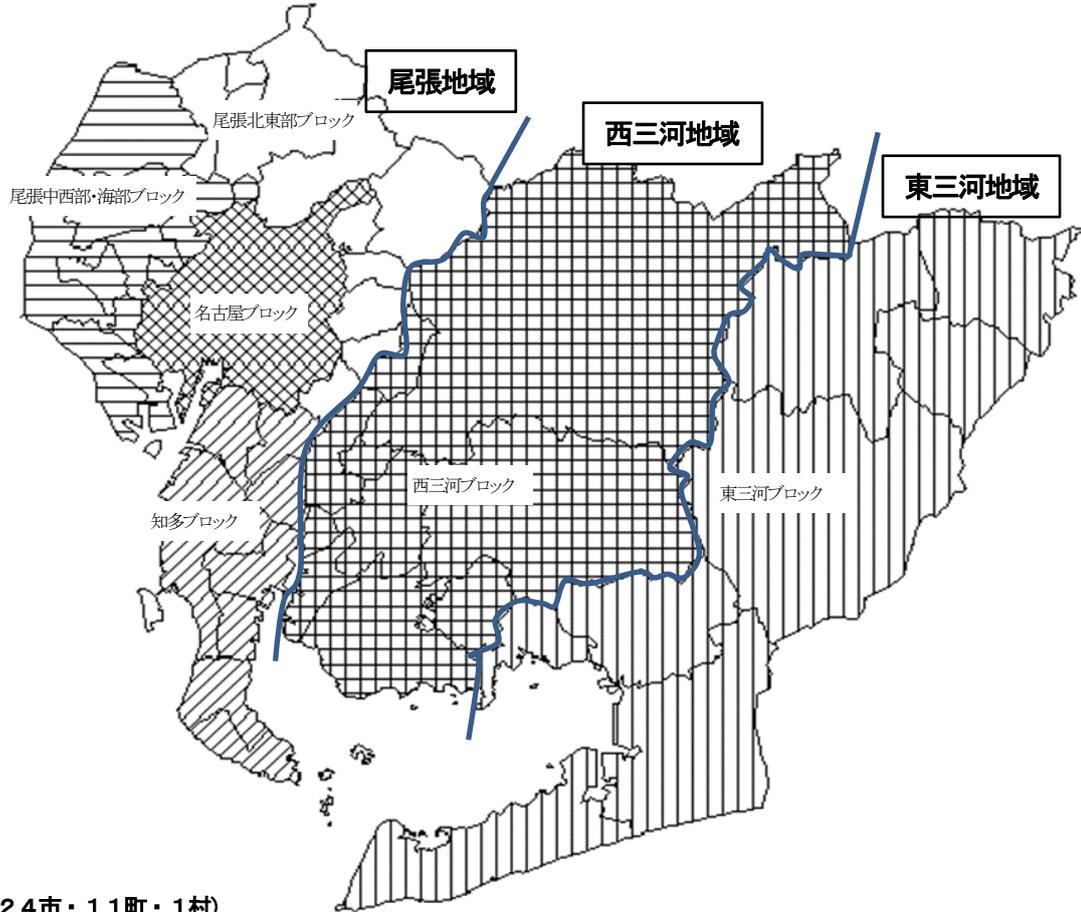
アドレス <https://www.pref.aichi.jp/toukei/>

御 利 用 に あ た っ て

- 1 この報告書は、内閣府経済社会総合研究所から提示された「県民経済計算標準方式」に準じて、愛知県が作成した「市町村民所得の推計方法」に基づき推計した結果です。
- 2 名古屋市については、同市が独自に推計した数値を掲載していますので、次の点に注意してください。
 - (1) 総生産の「その他」の項目については、「輸入品に課される税・関税」と「(控除)総資本形成に係る消費税」の合計値を掲載しました。
 - (2) 家計所得については推計を行っていないため、この報告書では掲載していません。
- 3 全市町村の合計値は、次の理由により、県民経済計算の県の数値と若干乖離があります。
 - (1) 市町村民所得の推計方法は、県民経済計算の推計方法と基本的な考え方は同じですが、利用する基礎資料や推計方法の一部に相違があること。
 - (2) 名古屋市については、同市が独自に推計したものであること。
- 4 この報告書は、次により記述しています。
 - (1) 県の数値は、原則として県民経済計算による公表値であり、また、構成比は全市町村の積み上げ数値に対する割合です。
 - (2) 統計表は表示単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳が一致しない場合があります。
 - (3) 市町村区分は、2019年4月1日時点（次ページ）により記述及び作表しています。
 - (4) 符号の用法は、次のとおりです。
 - 0 …… 単位未満
 - － …… 該当なし又は秘匿値
 - (5) 統計表の増加率は、次式により算出しています。
$$(X_1 / X_0 - 1) \times (X_0 \text{の符号}) \times 100$$
 - X_1 : 当年度の計数
 - X_0 : 前年度の計数
- 5 市町村民所得の計数は、推計方法の改善等により改定を行っておりますので、最新の年報を御利用ください。
- 6 経済成長率は、一般に実質経済成長率を利用しますが、この市町村民所得推計では実質化ができないため、すべて名目値によります。
- 7 この報告書についての照会等は、下記宛にお願いします。

愛知県 県民文化局 県民生活部 統計課 統計分析グループ
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話052-954-6477 (ダイヤルイン)

地域・地域ブロック区分



尾張地域 (24市・11町・1村)

名古屋ブロック (1市)

名古屋市

尾張北東部ブロック (10市・3町)

瀬戸市、春日井市、犬山市、江南市、小牧市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日進市、長久手市、東郷町、大口町、扶桑町

尾張中西部・海部ブロック (8市・3町・1村)

一宮市、津島市、稲沢市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、あま市、豊山町、大治町、蟹江町、飛島村

知多ブロック (5市・5町)

半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町

西三河地域 (ブロック) (9市・1町)

岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、みよし市、幸田町

東三河地域 (ブロック) (5市・2町・1村)

豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村

(参考) 2019年4月1日時点の合併市町村は、以下のとおり

(合併後市町村名、旧市町村名、合併年月日)

岡崎市 (岡崎市、額田町)	2006年 1月 1日	田原市 (田原市、渥美町)	2005年 10月 1日
一宮市 (一宮市、尾西市、木曾川町)	2005年 4月 1日	愛西市 (佐屋町、立田村、八開村、佐織町)	2005年 4月 1日
豊川市 (豊川市、小坂井町)	2010年 2月 1日	清須市 (清須市、春日町)	2009年 10月 1日
豊田市 (豊田市、藤岡町、小原村、足助町、下山村、旭町、稲武町)	2005年 4月 1日	北名古屋市 (師勝町、西春町)	2006年 3月 20日
西尾市 (西尾市、一色町、吉良町、幡豆町)	2011年 4月 1日	弥富市 (弥富町、十四山村)	2006年 4月 1日
稲沢市 (稲沢市、祖父江町、平和町)	2005年 4月 1日	あま市 (七宝町、美和町、甚目寺町)	2010年 3月 22日
新城市 (新城市、鳳来町、作手村)	2005年 10月 1日	設楽町 (設楽町、津具村)	2005年 10月 1日
		豊根村 (豊根村、富山村)	2005年 11月 27日

1 本県経済の概況

2016年度の日本経済は、前半は英国のEU離脱方針の決定など海外経済の不透明感が高まる中で円高が進行し、輸出や企業収益が足踏みとなりました。しかし、後半に入ると、アメリカ新政権の経済政策への期待感等から各国で株価が上昇するなど、海外経済の緩やかな回復を背景に、輸出や生産が持ち直しました。

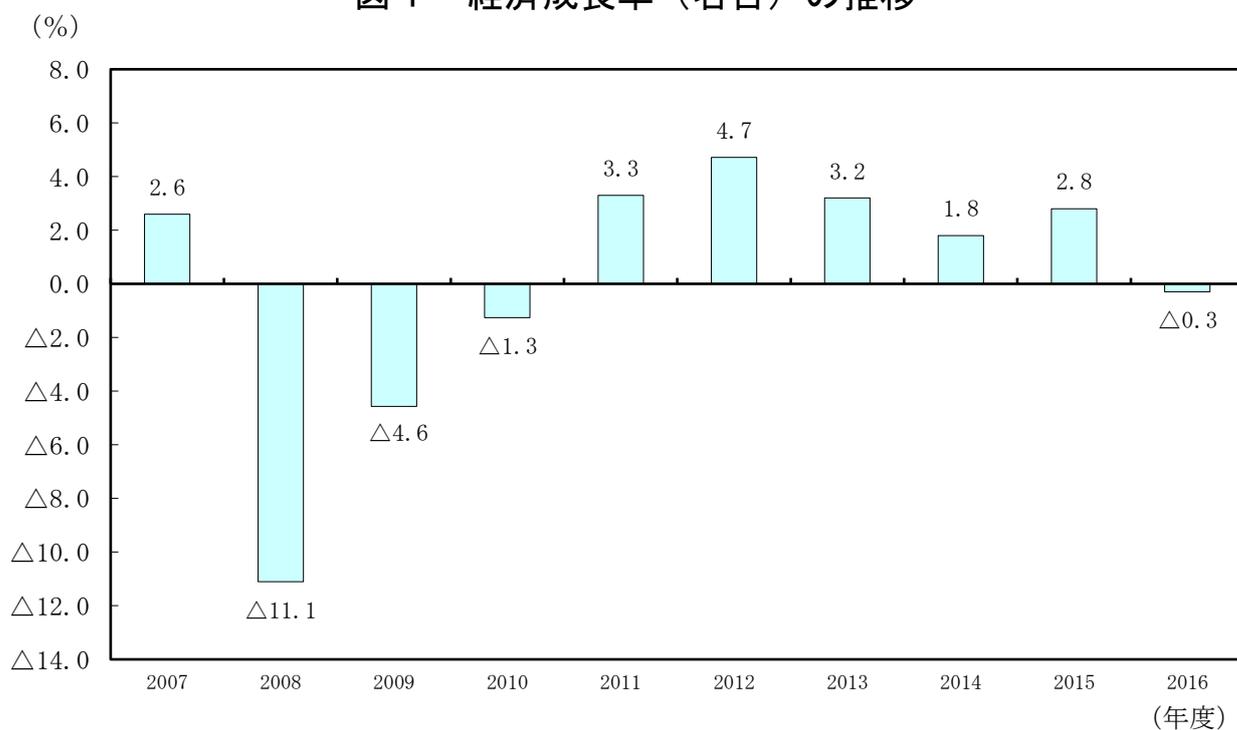
その中で、本県経済は、輸出関連企業が多く、全国に比べて円高の影響を受けやすい環境にある中、本県の主要産業である製造業のうち輸送用機械で輸出が減少し、企業収益も低迷しました。この結果、県内総生産は39兆4094億円（2015年度39兆5297億円）となり、経済成長率（名目）では6年ぶりのマイナス（ $\Delta 0.3\%$ ）となりました。

（図1）

これを生産面でみると、輸出依存度の高い輸送用機械が減少する一方で、化学、一次金属、卸売・小売業などが増加し、製造業、非製造業を問わず全体としては横ばいとなりました。

分配面でみると、県民雇用者報酬は増加しましたが、企業所得が減少しました。（出典：「2016年度あいちの県民経済計算」）

図1 経済成長率（名目）の推移



2 地域経済の概況

(1) 地域別総生産

総生産は、市町村内における企業などの経済活動によって生産された財貨・サービスの総額（産出額）から原材料費など（中間投入額）を差し引いた付加価値額をいいます。

2016年度の市町村内総生産を地域別にみると、尾張地域が24兆3724億円（構成比61.9%）と最も大きく、次いで西三河地域11兆4840億円（同29.2%）、東三河地域3兆4937億円（同8.9%）の順となりました。（表1）

(2) 地域別経済成長率

総生産の対前年度増加率である経済成長率を地域別にみると、尾張地域が0.2%の増加でしたが、西三河地域が3.2%の減少、東三河地域は0.9%の減少となりました。

（表1）

表1 地域別総生産

（単位：億円、%）

	2015年度	2016年度		
	金額	金額	構成比	対前年度増加率
県	395,297	394,094	—	△ 0.3
尾張地域	243,305	243,724	61.9	0.2
名古屋ブロック	133,049	133,071	33.8	0.0
尾張北東部ブロック	44,783	45,177	11.5	0.9
尾張中西部・海部ブロック	35,598	35,273	9.0	△ 0.9
知多ブロック	29,876	30,203	7.7	1.1
西三河地域	118,631	114,840	29.2	△ 3.2
東三河地域	35,263	34,937	8.9	△ 0.9

（注）構成比欄の数値は、各地域の合計値に対する構成比です。

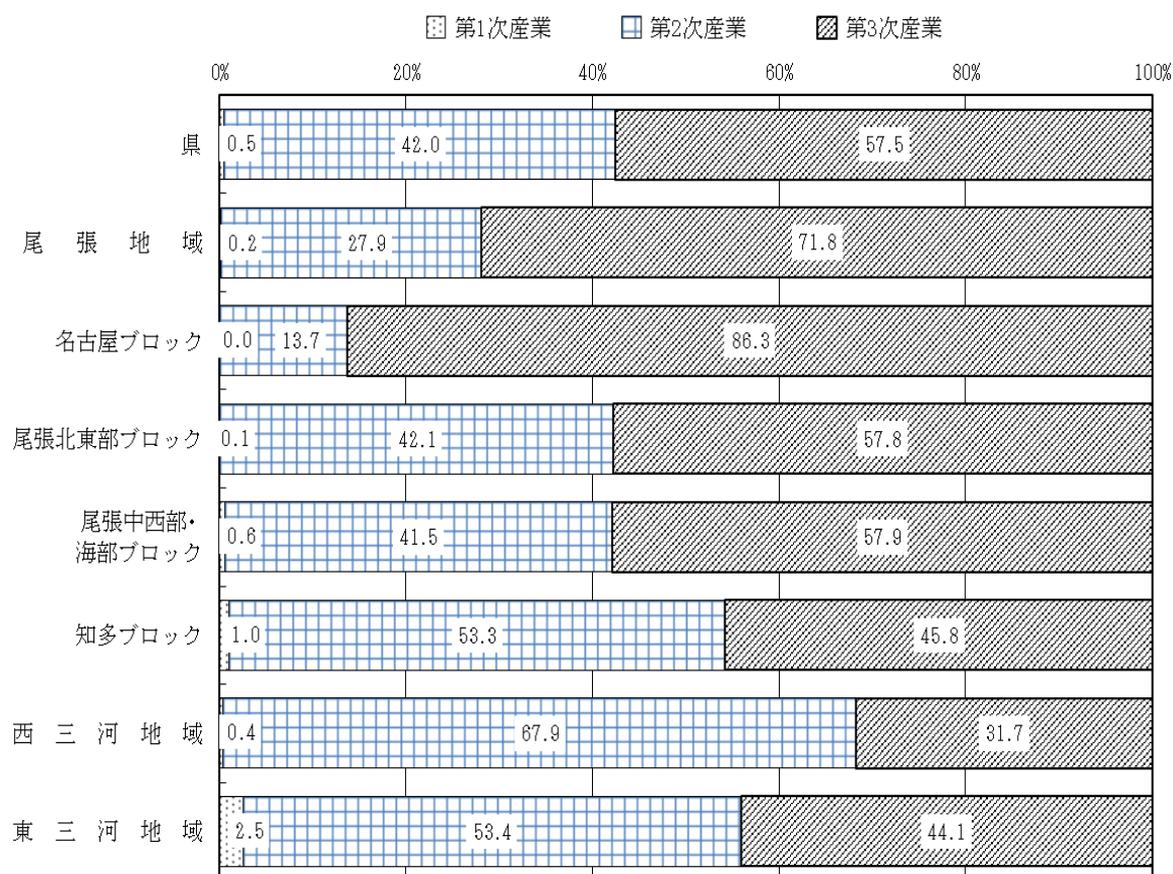
(3) 地域別産業構造

産業構造を地域別にみると、尾張地域は、卸売・小売業や不動産業が多く、第3次産業の割合が71.8%を占めています。

西三河地域は、第2次産業の割合が67.9%と最も高く、特に輸送用機械関連の製造業が集積しており、県内で第2次産業のウエイトが最も高い地域となっています。

東三河地域は、第2次産業が53.4%、第3次産業が44.1%と拮抗しています。また、施設園芸等が盛んで、第1次産業のウエイトが2.5%と他地域に比べて高くなっています。(図2)

図2 地域別産業構成比



(注) 第1次産業：農林水産業
 第2次産業：鉱業、製造業、建設業
 第3次産業：電気・ガス・水道・廃棄物処理業、卸売・小売業、運輸・郵便業
 宿泊・飲食サービス業、情報通信業、金融・保険業、不動産業
 専門・科学技術、業務支援サービス業、公務、教育、保健衛生・社会事業
 その他のサービス

(4) 地域別市町村民所得（分配）

市町村民所得（分配）は、市町村に所在する企業・団体及び居住者が雇用者報酬、財産所得及び企業所得の形で受け取った所得をいい、人口一人当たり市町村民所得（分配）は、各市町村の経済水準を示す指標として用いられています。

2016年度の市町村民所得（分配）を地域別にみると、尾張地域が17兆1303億円と最も大きく、全体の約3分の2を占め（構成比64.0%）、次いで西三河地域7兆2040億円（同26.9%）、東三河地域2兆4277億円（同9.1%）の順となりました。

また、経済水準を示す人口一人当たり市町村民所得（分配）は、西三河地域が448万9千円と最も高く、次いで尾張地域332万8千円、東三河地域321万3千円の順となりました。（表2）

表2 地域別市町村民所得（分配）

	2015年度		2016年度		一人当たり市町村民所得	
	金額（億円）	金額（億円）	構成比（%）	金額（千円）	指数	
県	276,904	272,706	—	3,632	100.0	
尾張地域	175,136	171,303	64.0	3,328	91.6	
名古屋ブロック	85,613	83,480	31.2	3,622	99.7	
尾張北東部ブロック	37,718	36,729	13.7	3,049	83.9	
尾張中西部・海部ブロック	30,923	30,148	11.3	2,973	81.8	
知多ブロック	20,882	20,946	7.8	3,358	92.5	
西三河地域	73,571	72,040	26.9	4,489	123.6	
東三河地域	24,961	24,277	9.1	3,213	88.5	

（注）構成比欄の数値は、各地域の合計値に対する構成比です。

3 市町村経済の概況

(1) 市町村内総生産

ア 経済規模

市町村内総生産を市町村別にみると、名古屋市が13兆3071億円と最も大きく、全体の約3分の1（構成比33.8%）を占め、次いで豊田市5兆518億円（同12.8%）、豊橋市1兆4975億円（同3.8%）、岡崎市1兆4675億円（同3.7%）の順となりました。（表3）

表3 市町村内総生産上位10市町村

(単位：億円、%)

順位	2016年度				2015年度	
	市町村名	金額	構成比	対前年度増加率	市町村名	金額
1	名古屋市	133,071	33.8	0.0	名古屋市	133,049
2	豊田市	50,518	12.8	△ 3.3	豊田市	52,245
3	豊橋市	14,975	3.8	△ 2.3	岡崎市	16,309
4	岡崎市	14,675	3.7	△ 10.0	豊橋市	15,322
5	安城市	12,218	3.1	△ 1.4	安城市	12,385
6	春日井市	10,391	2.6	1.9	一宮市	10,669
7	一宮市	10,368	2.6	△ 2.8	春日井市	10,195
8	刈谷市	9,341	2.4	0.0	小牧市	9,711
9	小牧市	9,288	2.4	△ 4.4	刈谷市	9,339
10	西尾市	9,062	2.3	5.9	西尾市	8,557

イ 総生産の増加額

総生産の前年度に対する増加額を市町村別にみると、稲沢市が782億円と増加額が最も大きくなり、次いで西尾市505億円増、清須市316億円増の順となり、製造業が好調だった市町村が上位の多数を占めました。（表4）

表4 総生産の増加額上位10市町村

(単位：億円)

順位	市町村名	金額	順位	市町村名	金額
1	稲沢市	782	6	武豊町	254
2	西尾市	505	7	春日井市	196
3	清須市	316	8	長久手市	169
4	犬山市	295	9	知多市	161
5	常滑市	268	10	豊明市	144

ウ 経済成長率

経済成長率を市町村別にみると、武豊町が14.5%と最も高く、次いで稲沢市12.8%、常滑市12.2%の順となり、製造業が好調だった尾張地域の市町村が上位を占めました。プラス成長だった市町村数は、全体の約5割の26市町村でした。(表5)

表5 経済成長率上位10市町村

(単位：%)

順位	市町村名	経済成長率	順位	市町村名	経済成長率
1	武豊町	14.5	6	犬山市	9.6
2	稲沢市	12.8	7	長久手市	7.6
3	常滑市	12.2	8	岩倉市	7.4
4	飛島村	10.8	9	豊明市	6.8
5	清須市	10.5	10	扶桑町	6.7

(2) 市町村内純生産

ア 労働生産性

市町村内純生産は、市町村内総生産から固定資本減耗等を差し引いたもので、これを当該市町村の就業人口で除することにより労働生産性を表す指標として用いられています。

就業者一人当たり市町村内純生産を市町村別にみると、幸田町が1547万3千円と最も高く、次いで知多市の1425万3千円、田原市の1419万9千円、豊田市の1380万1千円の順となりました。(表6)

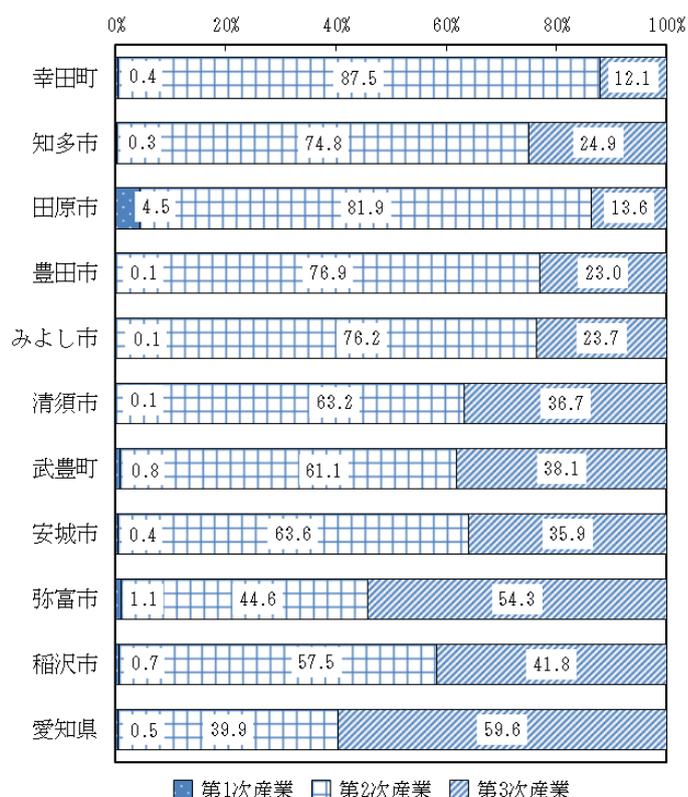
上位の市町村の産業構造をみると、県と比較して第2次産業の割合が高い市町村が多数を占めています。(図3)

表6 労働生産性上位10市町村
(就業者一人当たり純生産)

(単位：千円)

順位	市町村名	金額	指数
1	幸田町	15,473	235.5
2	知多市	14,253	216.9
3	田原市	14,199	216.1
4	豊田市	13,801	210.1
5	みよし市	12,444	189.4
6	清須市	8,620	131.2
7	武豊町	7,927	120.7
8	安城市	7,880	119.9
9	弥富市	7,293	111.0
10	稲沢市	7,263	110.5
	愛知県	6,570	100.0

図3 労働生産性上位10市町村の
産業構成比(純生産)



(3) 市町村民所得(分配)

ア 市町村民所得(分配)

市町村民所得(分配)を市町村別にみると、名古屋市が8兆3480億円(構成比31.2%)と最も多く、次いで豊田市の2兆7760億円(同10.4%)、岡崎市の1兆2847億円(同4.8%)、豊橋市の1兆876億円(同4.1%)の順となりました。(表7)

表7 市町村民所得(分配)上位10市町村

(単位：億円、%)

順位	2016年度				2015年度	
	市町村名	金額	構成比	対前年度増加率	市町村名	金額
1	名古屋市	83,480	31.2	△ 2.5	名古屋市	85,613
2	豊田市	27,760	10.4	△ 4.0	豊田市	28,902
3	岡崎市	12,847	4.8	△ 2.1	岡崎市	13,120
4	豊橋市	10,876	4.1	△ 4.5	豊橋市	11,387
5	一宮市	10,726	4.0	△ 3.1	一宮市	11,073
6	春日井市	9,110	3.4	△ 1.8	春日井市	9,278
7	安城市	7,431	2.8	0.0	安城市	7,430
8	刈谷市	6,523	2.4	1.2	刈谷市	6,447
9	豊川市	5,174	1.9	△ 2.5	小牧市	5,318
10	小牧市	4,864	1.8	△ 8.5	豊川市	5,306

イ 経済水準

地域の経済水準を表す人口一人当たり市町村民所得（分配）を市町村別にみると、飛島村が789万3千円で最も高く、次いで田原市730万1千円、豊田市653万6千円、みよし市624万8千円の順となり、輸送用機械関連の大規模な製造事業所が集積している市町村が上位を占めました。上位の市町村の構成比をみると、県と比べて民間法人企業所得の占める割合が高い傾向が見られます。（表8、図4）

なお、人口一人当たり県民所得（363万2千円）を100とした指数でみると、最上位は217.3、最下位は52.5となりました。

表8 人口一人当たり市町村民所得（分配）上位10市町村

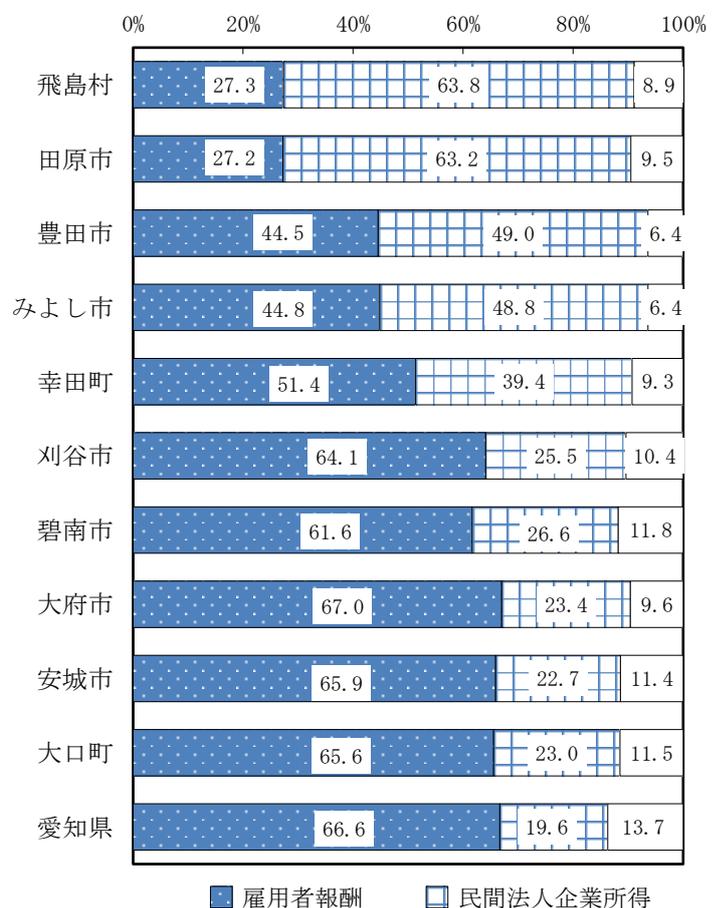
(単位：千円)

順位	市町村名	金額	指数
1	飛島村	7,893	217.3
2	田原市	7,301	201.0
3	豊田市	6,536	180.0
4	みよし市	6,248	172.0
5	幸田町	4,774	131.4
6	刈谷市	4,330	119.2
7	碧南市	4,086	112.5
8	大府市	4,067	112.0
9	安城市	4,009	110.4
10	大口町	3,654	100.6
	愛知県	3,632	100.0

指数は県を100とする。

(注)人口一人当たり市町村民所得には、企業所得を含む。

図4 人口一人当たり市町村民所得（分配）上位10市町村の分配構成比



ウ 市町村間の所得の流出入

市町村内純生産と市町村民所得（分配）との差額は、当該市町村における所得の流出又は流入の状況を表しています。

市町村内純生産の方が多い流出型の市町村は19市町村で、流出額は名古屋市が1兆1526億円で最も大きく、次いで豊田市7789億円、田原市1548億円、小牧市1408億円の順となっており、主に産業の集積が高く、雇用機会の多い市町村が上位を占めています。

一方、流入型の市町村は35市町村で、流入額は岡崎市が3228億円と最も大きく、次いで一宮市3088億円、春日井市1734億円、刈谷市1246億円の順となっており、名古屋市近郊のベッドタウン的な性格を持つ市町村や産業の集積している市町村の周辺などに散在しています。

次に、市町村内純生産に対する流出入額の割合を表す流出入率をみると、流出率では飛島村が59.8%と最も高く、次いで大口町43.2%、幸田町36.6%、知多市31.3%の順となっています。飛島村では村内純生産の約6割が村外に流出しています。（表9、図5）

表9 所得の流出入額（率）上位10市町村

（単位：億円、%）

順位	流 出 額		流 出 率		順位	流 入 額		流 入 率	
	市町村名	金額	市町村名	率		市町村名	金額	市町村名	率
1	名古屋市	11,526	飛島村	59.8	1	岡崎市	3,228	扶桑町	88.9
2	豊田市	7,789	大口町	43.2	2	一宮市	3,088	東浦町	88.0
3	田原市	1,548	幸田町	36.6	3	春日井市	1,734	知立市	83.0
4	小牧市	1,408	知多市	31.3	4	刈谷市	1,246	大治町	77.4
5	幸田町	1,112	豊山町	27.3	5	日進市	1,193	愛西市	74.8
6	知多市	1,107	田原市	25.5	6	知立市	1,066	東郷町	68.5
7	安城市	733	小牧市	22.5	7	江南市	1,057	日進市	66.6
8	大口町	655	豊田市	21.9	8	大府市	888	江南市	62.8
9	西尾市	549	新城市	21.0	9	あま市	810	あま市	54.8
10	飛島村	519	弥富市	13.7	10	尾張旭市	755	岩倉市	54.8

（注）流出率＝流出額（市町村内純生産－市町村民所得）÷市町村内純生産額×100

流入率＝流入額（市町村民所得－市町村内純生産）÷市町村内純生産額×100

図5 所得の流出・流入型市町村の分布



(4) 市町村民家計所得（個人企業を含む）

市町村民家計所得は、市町村内に居住する家計（個人企業を含む）が受け取る雇用者報酬、営業余剰・混合所得、財産所得のほか、社会給付などの移転所得を含んでおり、当該市町村に居住する個人が受け取った所得に近い概念となっています。

未推計である名古屋市を除く53市町村別の市町村民家計所得をみると、豊田市が1兆7206億円と最も多く、次いで岡崎市1兆4326億円、一宮市1兆2900億円、豊橋市1兆2520億円の順となりました。（表10）

また、人口一人当たり市町村民家計所得は、豊田市が405万1千円で最も高く、次いで長久手市403万6千円、刈谷市393万2千円、大府市387万3千円の順となりました。（表11）

県民一人当たり家計所得（360万9千円）を100とした指数でみると、最上位は112.2、最下位は74.6となりました。

表10 市町村民家計所得上位10市町村

(単位：億円、%)

順位	2016年度			2015年度	
	市町村名	金額	対前年度増加率	市町村名	金額
1	豊田市	17,206	△ 0.0	豊田市	17,209
2	岡崎市	14,326	△ 0.1	岡崎市	14,346
3	一宮市	12,900	△ 1.6	一宮市	13,104
4	豊橋市	12,520	△ 1.0	豊橋市	12,647
5	春日井市	10,476	△ 0.7	春日井市	10,551
6	安城市	7,019	0.5	安城市	6,985
7	豊川市	6,159	0.3	豊川市	6,138
8	刈谷市	5,923	0.1	刈谷市	5,915
9	西尾市	5,392	△ 1.3	西尾市	5,465
10	小牧市	4,790	△ 2.7	小牧市	4,922

(注) 名古屋市を除

表11 人口一人当たり市町村民家計所得上位10市町村

(単位：千円)

順位	市町村名	金額	指数	順位	市町村名	金額	指数
1	豊田市	4,051	112.2	6	東海市	3,851	106.7
2	長久手市	4,036	111.8	7	安城市	3,786	104.9
3	刈谷市	3,932	108.9	8	碧南市	3,771	104.5
4	大府市	3,873	107.3	9	知立市	3,770	104.5
5	みよし市	3,860	107.0	10	岡崎市	3,737	103.5

指数は県民一人当たり家計所得3609千円（全市町村の積み上げ数値）を100とする。

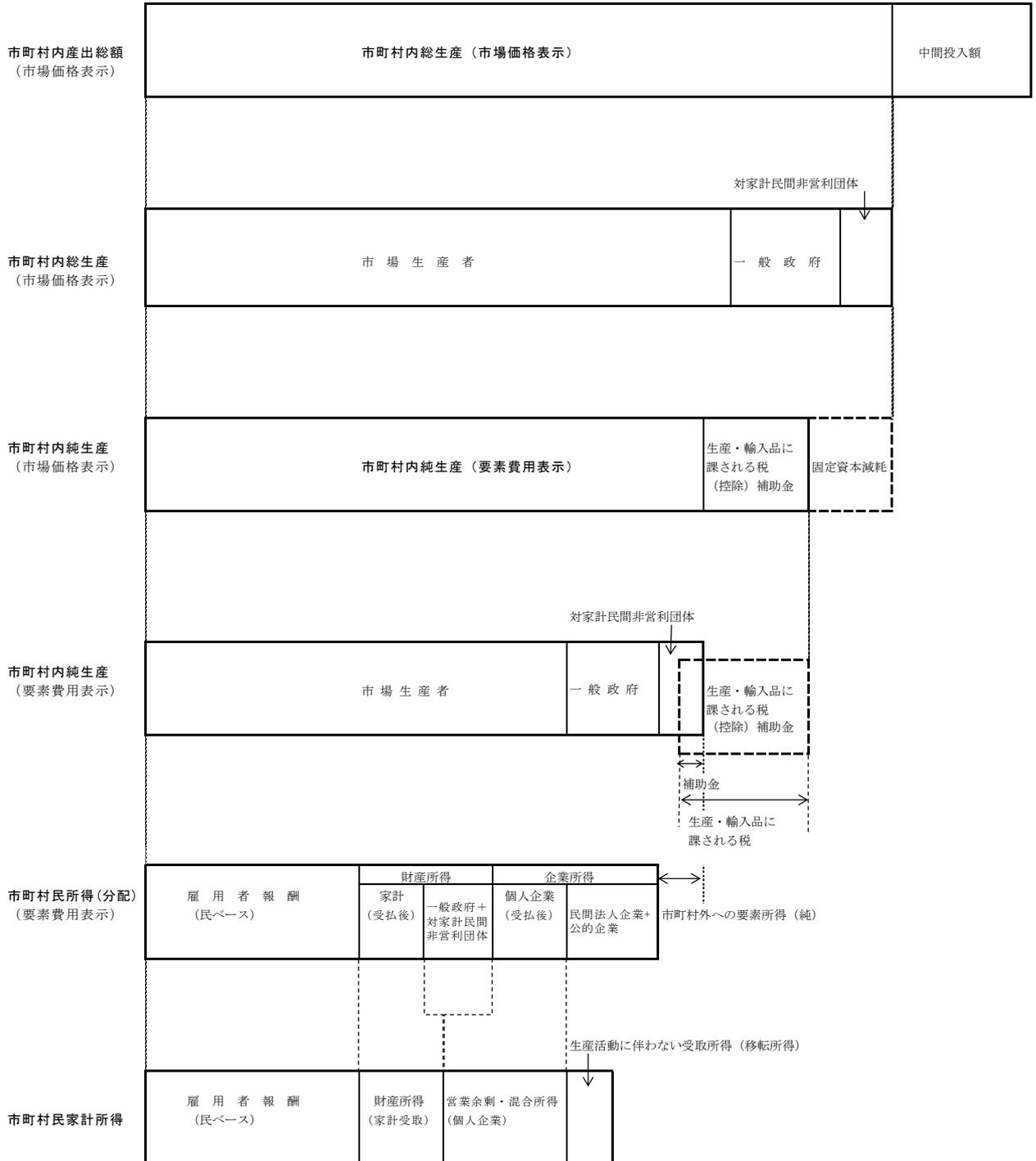
地域別 統計表

	市町村内総生産			人口一人当たり市町村民所得	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年度増加率 (%)	金額 (千円)	指数 (県=100)
尾張地域	24,372,369	61.9	0.2	3,328	91.6
名古屋ブロック (名古屋市)	13,307,129	33.8	0.0	3,622	99.7
尾張北東部ブロック	4,517,710	11.5	0.9	3,049	84.0
瀬戸市	470,133	1.2	1.8	2,968	81.7
春日井市	1,039,122	2.6	1.9	2,966	81.7
犬山市	337,388	0.9	9.6	2,758	75.9
江南市	230,988	0.6	1.0	2,787	76.7
小牧市	928,754	2.4	△ 4.4	3,257	89.7
尾張旭市	229,227	0.6	2.9	2,994	82.4
岩倉市	125,390	0.3	7.4	2,879	79.3
豊明市	226,888	0.6	6.8	2,858	78.7
日進市	258,491	0.7	0.1	3,347	92.1
長久手市	238,341	0.6	7.6	3,588	98.8
東郷町	117,496	0.3	△ 4.9	3,096	85.2
大口町	236,911	0.6	△ 9.0	3,654	100.6
扶桑町	78,581	0.2	6.7	3,166	87.2
尾張中西部・海部ブロック	3,527,259	9.0	△ 0.9	2,973	81.8
一宮市	1,036,834	2.6	△ 2.8	2,817	77.6
津島市	202,496	0.5	△ 0.2	2,759	76.0
稲沢市	687,787	1.7	12.8	3,458	95.2
愛西市	133,437	0.3	△ 2.1	2,691	74.1
清須市	332,319	0.8	10.5	3,290	90.6
北名古屋市	288,496	0.7	△ 11.3	3,041	83.7
弥富市	228,771	0.6	0.4	3,211	88.4
あま市	199,961	0.5	△ 5.2	2,624	72.2
豊山町	108,078	0.3	△ 40.3	3,066	84.4
大治町	67,288	0.2	4.1	2,519	69.4
蟹江町	109,376	0.3	△ 4.1	3,181	87.6
飛島村	132,416	0.3	10.8	7,893	217.3
知多ブロック	3,020,271	7.7	1.1	3,358	92.5
半田市	532,646	1.4	△ 1.3	3,430	94.4
常滑市	247,027	0.6	12.2	3,057	84.2
東海市	784,084	2.0	△ 2.5	3,607	99.3
大府市	426,173	1.1	3.3	4,067	112.0
知多市	476,155	1.2	3.5	2,872	79.1
阿久比町	96,422	0.2	△ 6.0	3,340	92.0
東浦町	143,061	0.4	△ 6.8	3,186	87.7
南知多町	53,566	0.1	△ 2.4	2,489	68.5
美浜町	60,998	0.2	△ 6.4	2,529	69.6
武豊町	200,139	0.5	14.5	3,409	93.8

	市町村内総生産			人口一人当たり市町村所得	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年度増加率 (%)	金額 (千円)	指数 (県=100)
西三河地域 (ブロック)	11,484,036	29.2	△ 3.2	4,489	123.6
岡崎市	1,467,502	3.7	△ 10.0	3,351	92.3
碧南市	443,058	1.1	3.0	4,086	112.5
刈谷市	934,102	2.4	0.0	4,330	119.2
豊田市	5,051,778	12.8	△ 3.3	6,536	180.0
安城市	1,221,753	3.1	△ 1.4	4,009	110.4
西尾市	906,245	2.3	5.9	2,814	77.5
知立市	188,367	0.5	△ 4.7	3,321	91.4
高浜市	228,340	0.6	△ 13.5	3,478	95.7
みよし市	607,481	1.5	△ 0.5	6,248	172.0
幸田町	435,410	1.1	△ 8.8	4,774	131.4
東三河地域 (ブロック)	3,493,721	8.9	△ 0.9	3,213	88.5
豊橋市	1,497,526	3.8	△ 2.3	2,905	80.0
豊川市	672,920	1.7	0.3	2,829	77.9
蒲郡市	268,227	0.7	△ 0.7	2,908	80.1
新城市	216,324	0.5	△ 5.2	2,531	69.7
田原市	809,850	2.1	1.8	7,301	201.0
設楽町	17,525	0.0	0.3	2,205	60.7
東栄町	8,105	0.0	△ 3.7	1,907	52.5
豊根村	3,244	0.0	△ 3.9	1,938	53.4

(注) 地域は、2014年3月策定の「あいちビジョン2020」の区分による。
地域ブロックは、2015年10月策定の「愛知県人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略」の区分による。

市町村民所得の諸概念と相互関連



(注) 市町村内純生産と市町村民所得(分配)、市町村民所得(分配)と市町村民家計所得は大小関係が逆になる場合もあります。

社会・経済トピックス

年 月	円の対米 ドルレート	事 項
2016年4月 (平成28年)	109.88円	<ul style="list-style-type: none"> ・電気事業法改正による電力小売の全面自由化が実施される。(1日) ・G7外相、原爆慰霊碑に献花。米英仏の現職外相は初。(11日) ・熊本地震が発生。(14日)
5月	109.15円	<ul style="list-style-type: none"> ・15歳未満の子どもは35年連続で減少。総務省まとめ(4日) ・伊勢志摩サミット開催される。(26～27日) ・米国のオバマ大統領、現職大統領として初めて被爆地・広島を訪問。(27日)
6月	105.49円	<ul style="list-style-type: none"> ・安倍晋三首相が消費税率の10%への引き上げ時期の再延期を表明。(1日) ・イチロー選手が日米通算4257安打達成、大リーグ記録上回る。(15日) ・選挙権年齢を18歳以上とする公職選挙法が施行される。(19日) ・英国民投票、「離脱派」勝利 51.9%獲得 結果判明。(24日)
7月	103.90円	<ul style="list-style-type: none"> ・★愛知県が、着地型旅行商品の販売サイト「Visit 愛知県」を開設。(29日)
8月	101.27円	<ul style="list-style-type: none"> ・リオデジャネイロオリンピック開幕 日本、最多のメダル 41個。(8月5日～21日) ・★愛知県で国内最大級の国際芸術祭「あいちトリエンナーレ 2016」開催される。(8月11日～10月23日)
9月	102.04円	<ul style="list-style-type: none"> ・リオデジャネイロパラリンピック開幕 159カ国・地域から約4400人が参加。(9月7日～18日) ・日本銀行、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の導入を決定。(21日) ・★2026年開催予定の第20回アジア競技大会の開催都市が愛知・名古屋に決定される。(25日)
10月	103.82円	<ul style="list-style-type: none"> ・★愛知県で全国初の有料道路管理の民間開放(有料道路コンセッション)開始される。(1日) ・ノーベル医学・生理学賞 大隈良典氏が受賞。(3日) ・★愛知県で第31回国民文化祭・あいち2016が開催される。(10月29日～12月3日) ・レスリング伊調馨選手に国民栄誉賞授与。(20日)
11月	108.18円	<ul style="list-style-type: none"> ・★名古屋グランパスが初のJ2降格。(3日) ・2020年以降の地球温暖化対策の新枠組である「パリ協定」が発効。(4日) ・初の「世界津波の日」各地で訓練、身を守る備えを再確認。(5日) ・ドナルド・トランプ氏が米国次期大統領に。(8日)
12月	115.95円	<ul style="list-style-type: none"> ・★ユネスコは「山・鉾・屋台行事」の無形文化遺産登録を決定。愛知県から5件が登録。(1日) ・★東山動物園が休園、鳥インフルエンザ感染拡大で。(11日) ・★JR東海がリニア中央新幹線の名古屋駅新設に本格着手。(19日)
2017年1月 (平成29年)	114.73円	<ul style="list-style-type: none"> ・日本政府観光局は、2016年の訪日外客数(推計値)が2,404万人となり、過去最高を更新したと発表。(17日)
2月	113.06円	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月末の金曜日に早期帰宅を奨励し、消費を喚起する「プレミアムフライデー」が初めて実施される。(24日)
3月	113.01円	<ul style="list-style-type: none"> ・★「西尾の抹茶」が農林水産省において「地理的表示(GI:ジューアイ)」に登録される。愛知県からは初めての登録。(3日) ・★名古屋市議会は、名古屋城天守閣の木造復元に向けた約10億円の関連予算案を可決。(23日) ・英国がEUに離脱を通告、2年間の交渉開始へ。(29日)

注1) 円の対米ドルレートは、日銀統計(東京外国為替市場のインターバンク相場スポットレート月中平均)による。
 注2) ★印は、愛知県に関連深い出来事を示す。